

# 消防団たずね歩き

## 新しい防火衣(刺子)への更新

平成27年度より、約20年ぶりに神戸市消防団の防火衣(消防用語でいうところの刺子)が更新となり、我が兵庫消防団にも納品され、既に災害現場、訓練で活用しています。

キラキラと光る銀色が特徴的な旧防火衣はポリエステル<sup>①</sup>の基布にアルミ混入のゴム加工を施したものでしたが、切削強度、難燃性、耐熱性、重さ、通気性、快適性、動きやすさ、これらのバランスを総合的に勘案し、このたびの新しい防火衣へ更新されています。

今回更新された防火衣には、外皮全体に「アラミド繊維」と呼ばれる繊維を織り合わせた難燃性の強い生地が使用されています。

アラミド繊維は、分子構造的にはナイロンの仲間にあたり、耐熱性に優れたメタ系、熱や摩擦、切断にも強いパラ系といった種類があります。これらの繊維は高熱で炭化して強度が落ちることはありますが、融着しない性質を持ちます。

また、新防火衣はこのアラミド繊維の外衣とインナーの2重構造となっており、インナーはアウトドアグッズやレインウェアでも有名な「ゴアテックス」と呼ばれる防水透湿性に優れた高級素材が採用されています。

ゴアテックスは外部からの水分進入を抑えながら、発汗による水蒸気を外部に逃がしてくれます。

この新しい防火衣ですが、管理方法によっては、せっかくの高性能を維持できませんので、管理について注意点をまとめました。

- ① 紫外線は避ける。
- ② 洗濯するほど性能が落ちる。  
※洗う場合は中性洗剤か水洗い、陰干し
- ③ 硬いブラシ等でこすらない。

平成27年度からの5カ年計画で、兵庫消防団の全員分が貸与される予定です。それまでの間、まだまだ銀色の旧防火衣も活躍します。これら個人装備品の特徴や性能を理解し、兵庫消防団一同、これからの活動に役立てていきたいと思えます。

(兵庫消防団第4分団班長 加賀瀬広介)



上下セパレートの新しい紺色防火衣



まだまだ現役の銀色防火衣



**地域に根付いた消防団を目ざしています!**

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局  
神戸市消防団

